



ASAHI

INTECC

Your dreams. Woven together.

2009年6月期 決算説明

2009年8月11日

(証券コード:7747 東証二部、名証二部、ジャスダック)



1 . 2009年6月期決算の概要

2 . 2010年6月期業績見通し



2009年6月期決算のポイント(連結)

- 売上高は12,718百万円(前期比8.7%増)と堅調に推移
 - 増収事業: メディカル、メディカルデバイス 減収事業: インダストリアルデバイス
 - ▶ 景気悪化の影響により産業機器分野は不調であったものの、医療機器分野で自社ブランド品やOEM供給品が国内海外ともに好調

- 医療機器分野の原価低減・生産性向上により、営業利益は大幅に増加
 - 営業利益は1,782百万円(前期比68.6%増)
(営業利益率は前期比5.0ポイント上昇)
 - ▶ タイバーツ安など為替動向の変化に伴う製造経費の減少
 - ▶ 主要原材料であるステンレスやプラチナなどの価格下落に伴う原材料費の減少
 - ▶ アボット社からの協議合意後のPTCA-GWの大量受注に対して主力生産拠点を中心に順調な生産稼働
 - ▶ 固定費及び販管費のコストダウン努力

 - 経常利益は1,438百万円(前期比53.4%増)
 - ▶ 営業外費用に円高の影響による為替差損357百万円を計上

 - 当期純利益は445百万円(前期比5.8%減)
 - ▶ 特別損失に投資有価証券評価損460百万円を計上



決算ハイライト(連結)

	2008年6月期(実績)		2009年6月期(実績)					
	金額 (百万円)	構成比 (%)	修正計画 2008/11/12	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比		修正計画比
						増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減率 (%)
売上高	11,700	100.0	13,264	12,718	100.0	+1,017	+8.7	△4.1
売上総利益	5,866	50.1	6,885	6,888	54.2	+1,022	+17.4	+0.0
営業利益	1,057	9.0	1,452	1,782	14.0	+725	+68.6	+22.7
経常利益	937	8.0	1,044	1,438	11.3	+500	+53.4	+37.7
当期純利益	473	4.0	307	445	3.5	△27	△5.8	+44.8
EPS	29.86円	-	19.42円	28.13円	-	-	-	-



セグメント別売上高

	2008年6月期 実績		2009年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル (自社ブランド品)	6,873	58.7	8,379	65.9	+1,506	+21.9
メディカルデバイス (OEM・部材供給品)	2,266	19.4	2,356	18.5	+89	+4.0
<医療機器分野>	9,140	78.1	10,736	84.4	+1,596	+17.5
インダストリアルデバイス <産業機器分野>	2,560	21.9	1,981	15.6	△578	△22.6
合計	11,700	100.0	12,718	100.0	+1,017	+8.7



セグメント別営業利益

	2008年6月期 実績		2009年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル (自社ブランド品)	1,558	70.7	2,484	78.1	+926	+59.4
メディカルデバイス (OEM・部材供給品)	347	15.8	516	16.2	+168	+48.3
<医療機器分野>	1,906	86.5	3,000	94.4	+1,094	+57.4
インダストリアルデバイス <産業機器分野>	298	13.5	178	5.6	△119	△40.0
計	2,204	100.0	3,179	100.0	+974	+44.2
消去・全社	△1,147	-	△1,397	-	-	-
合計	1,057	-	1,782	-	+725	+68.6



セグメント別の収益状況

(百万円)

【売上高】

14,000

12,000

10,000

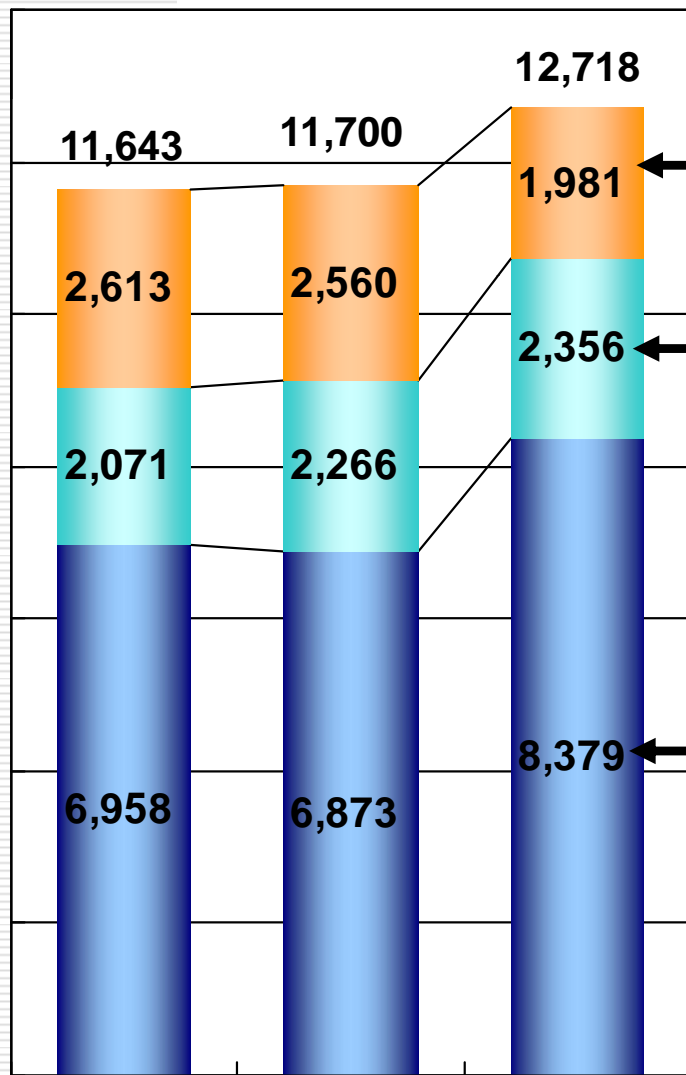
8,000

6,000

4,000

2,000

0



インダストリアル
デバイス

メディカル
デバイス

メディカル

消去・全社

(百万円)

【営業利益】

4,000

3,000

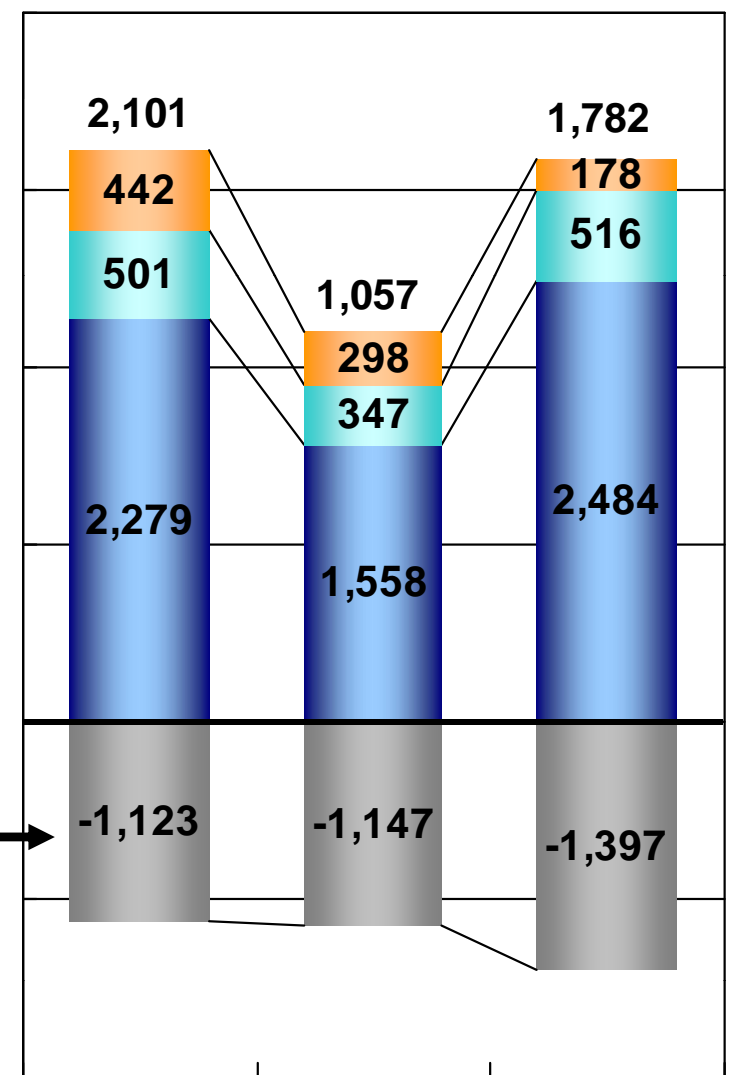
2,000

1,000

0

-1,000

-2,000



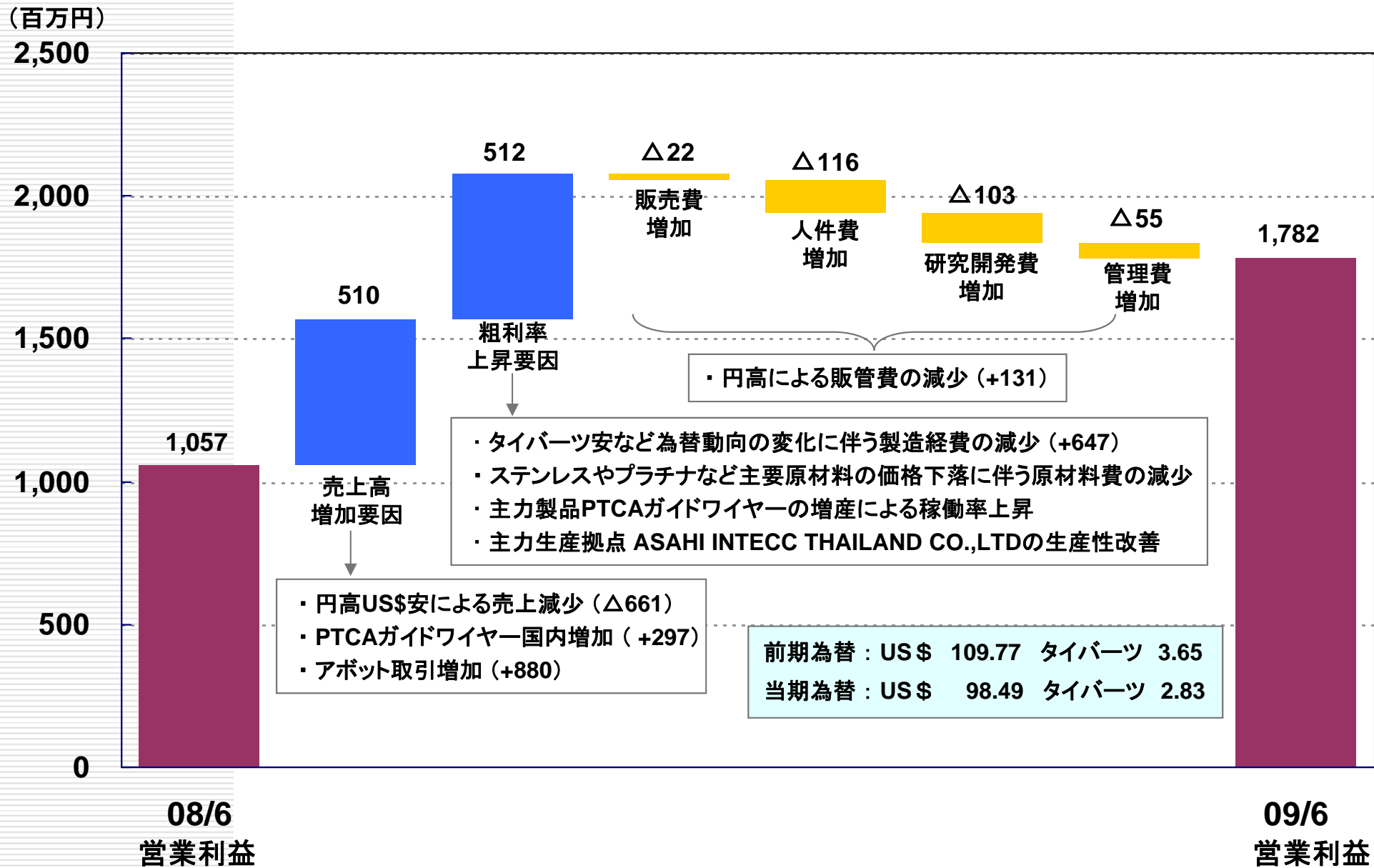
07/6

08/6

09/6

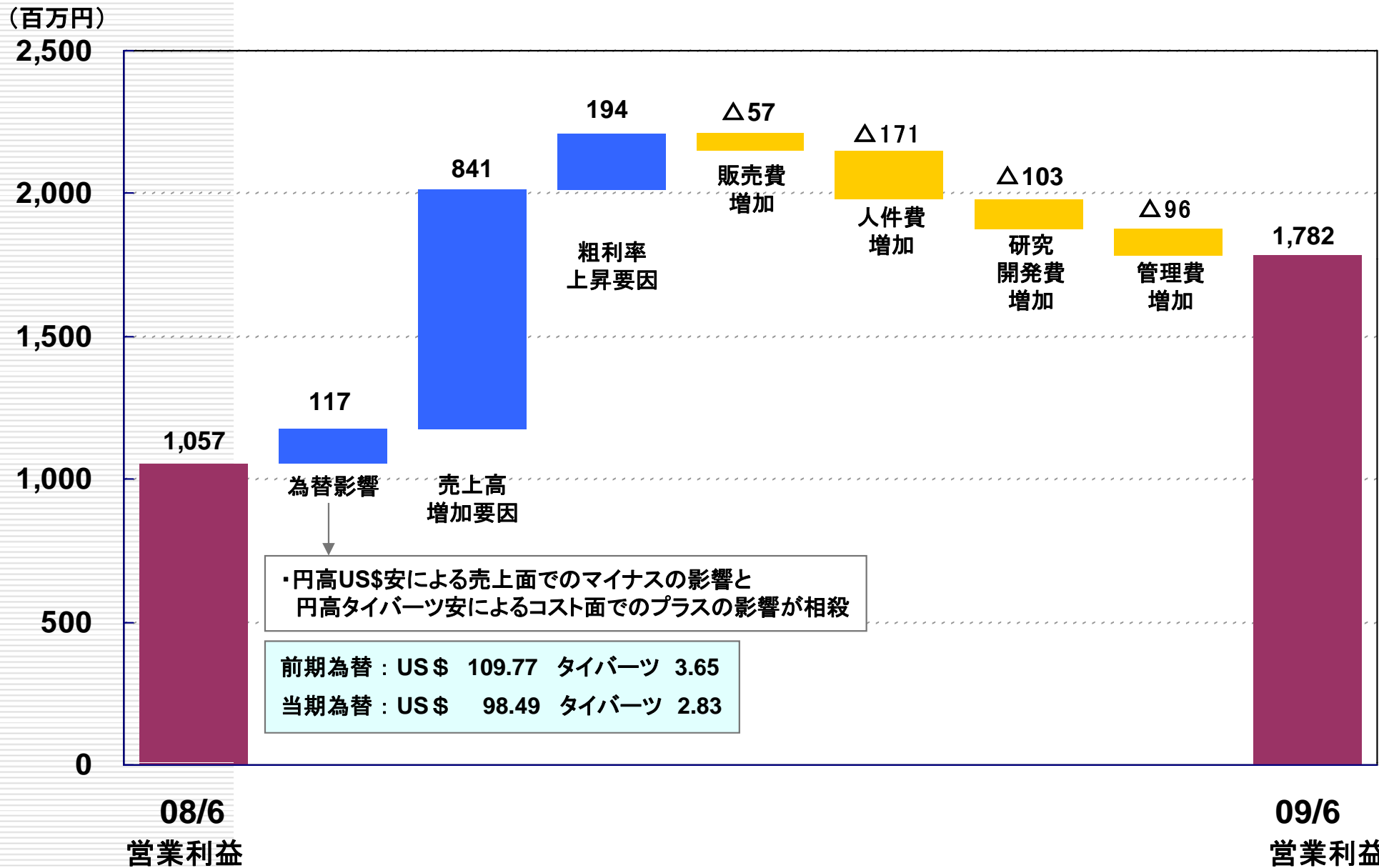


営業利益増減要因分析-1 (為替の影響を含む)





営業利益増減要因分析-2(為替の影響を除く)

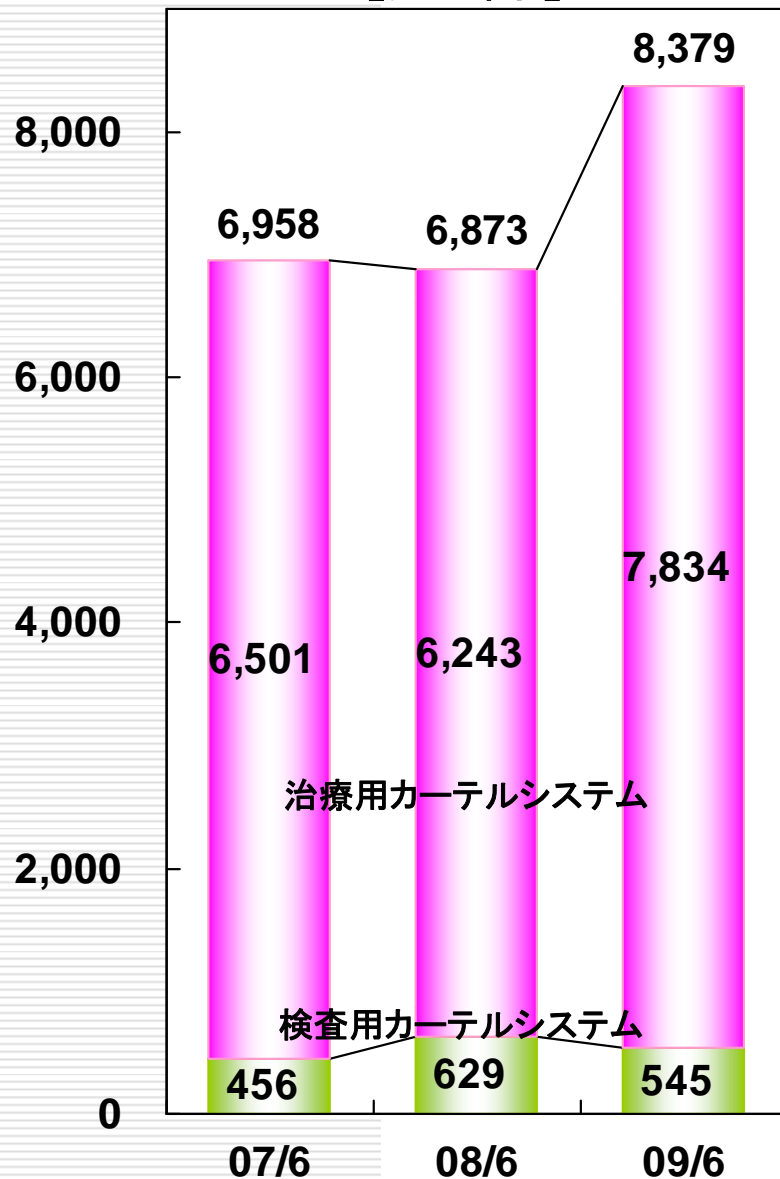




メディカル事業の状況

(百万円)

【売上高】



■ 国内・海外共に順調に推移

- 売上高8,379百万円(前期比21.9%増)
- 営業利益2,484百万円(同59.4%増)

■ 治療用カテーテルシステム

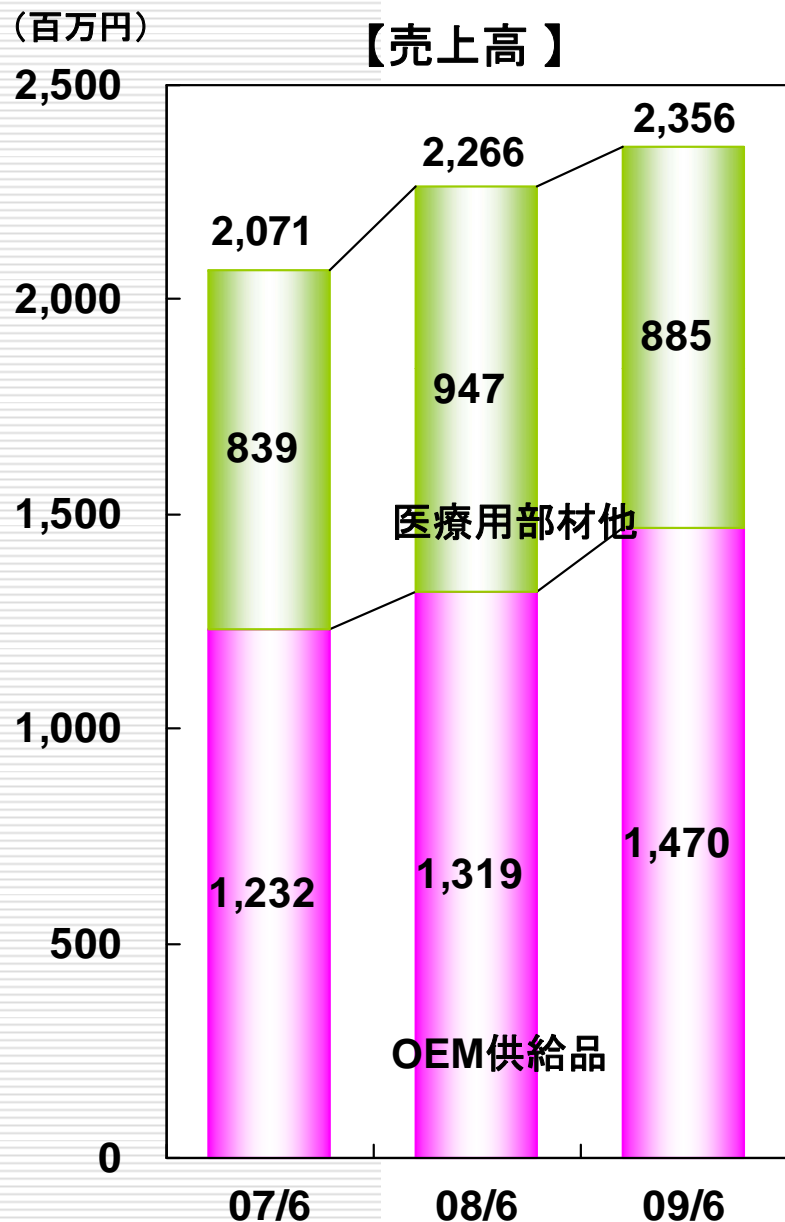
- 7,834百万円(前期比1,590百万円増、同25.5%増)
- 国内:循環器系を中心に幅広い患部領域の製品が好調
 - ▶ PTCAガイドワイヤーの売上高が大幅に増加
 - ▶ PTCAバルーンカテーテルが新製品投入により売上増加
 - ▶ 循環器系以外の製品(ペリフェラルガイドワイヤー等)が好調
- 海外:欧米・アジアでPTCAガイドワイヤーの販売が好調
 - ▶ アボット社との取引本数協議が昨年10月末に再合意し、11月以降は急速に伸長
 - ▶ アボット社以外の海外売上高もアジアを中心に順調に推移

■ 検査用カテーテルシステム

- 545百万円(前期比83百万円減、同13.3%減)
- 国内海外共に価格競争の影響を受け売上高は減少
- 海外向検査用カテーテルは方針により縮小傾向



メディカルデバイス事業の状況



■ 循環器以外の新領域分野への進出が順調に推移

- 売上高2,356百万円(前期比4.0%増)
- 営業利益516百万円(同48.3%増)

■ 医療用部材

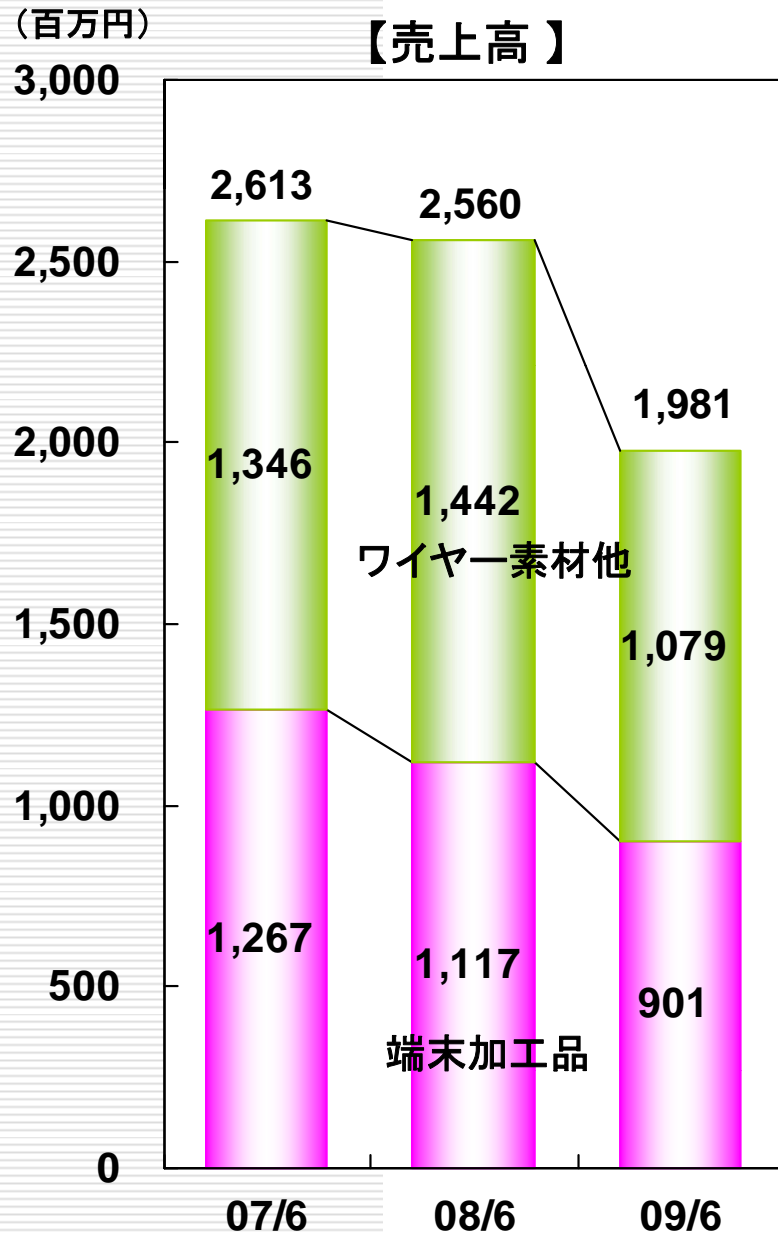
- 885百万円(前期比62百万円減、同6.5%減)
- 景気悪化の影響から米国医療機器メーカーが在庫調整や積極的な開発投資を抑制
- 米国市場向けでは耳鼻咽喉科系部材(蓄膿症治療)が増加するも、他の医療部材の受注が減少

■ OEM供給品

- 1,470百万円(前期比151百万円増、同11.5%増)
- 国内医療機器メーカー向けOEM供給品が堅調
 - ▶ 脳動脈瘤治療用の低侵襲製品を中心に売上増加
- 海外市場及び循環器以外の新領域分野への進出
 - ▶ 米国向けの抹消血管及び中心静脈用の低侵襲治療製品



インダストリアルデバイス事業の状況



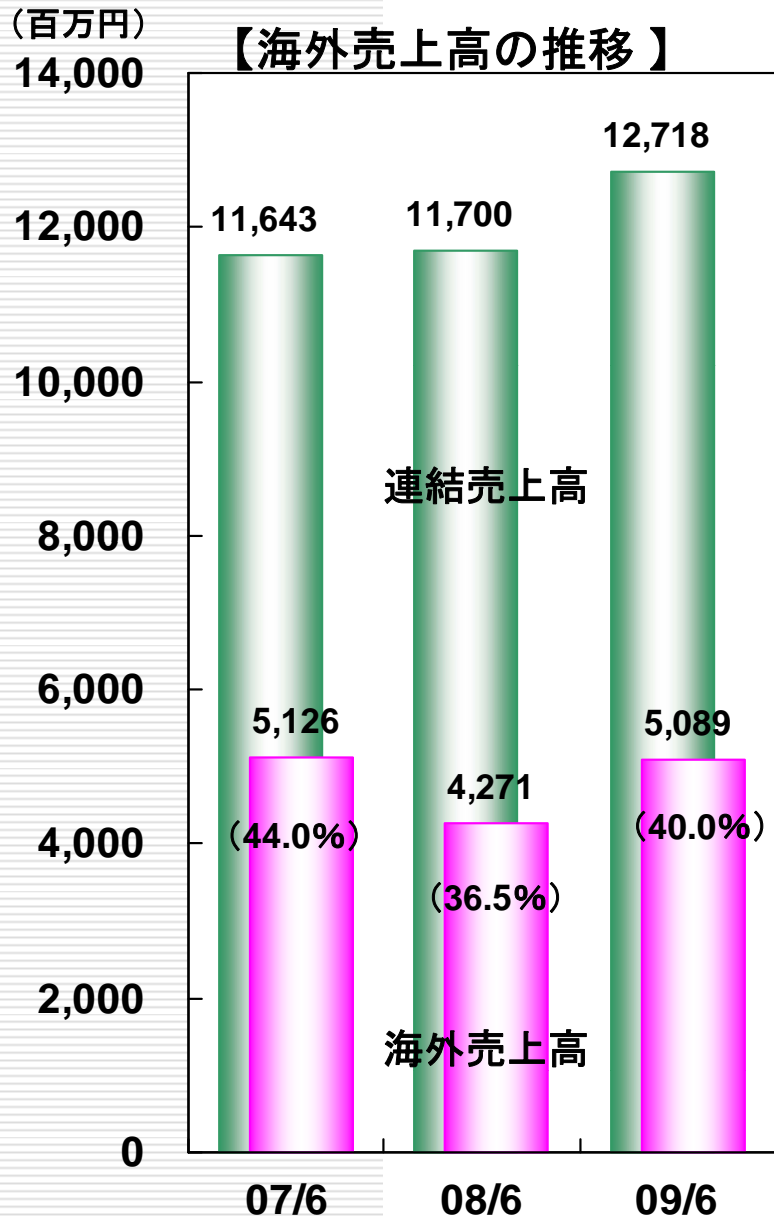
- 国内外の競合メーカーとの価格競争激化に加え、各市場における景況感の悪化により厳しい事業環境
 - 売上高1,981百万円(前期比22.6%減)
 - 営業利益178百万円(同40.0%減)
- 高付加価値製品へのシフト、販売価格見直しに注力

- ワイヤー素材
 - 1,079百万円(前期比362百万円減、同25.2%減)
 - ダイワ精工向け新製品などレジャー関連製品が好調
 - その他の業種では市況悪化の影響により大幅受注減

- 端末加工品
 - 901百万円(前期比215百万円減、同19.3%減)
 - 大手家電メーカー向けエアコン用の高機能部品は、中国向け需要が好調なため受注が増加
 - OA機器関連製品は景気悪化の影響により取引減少



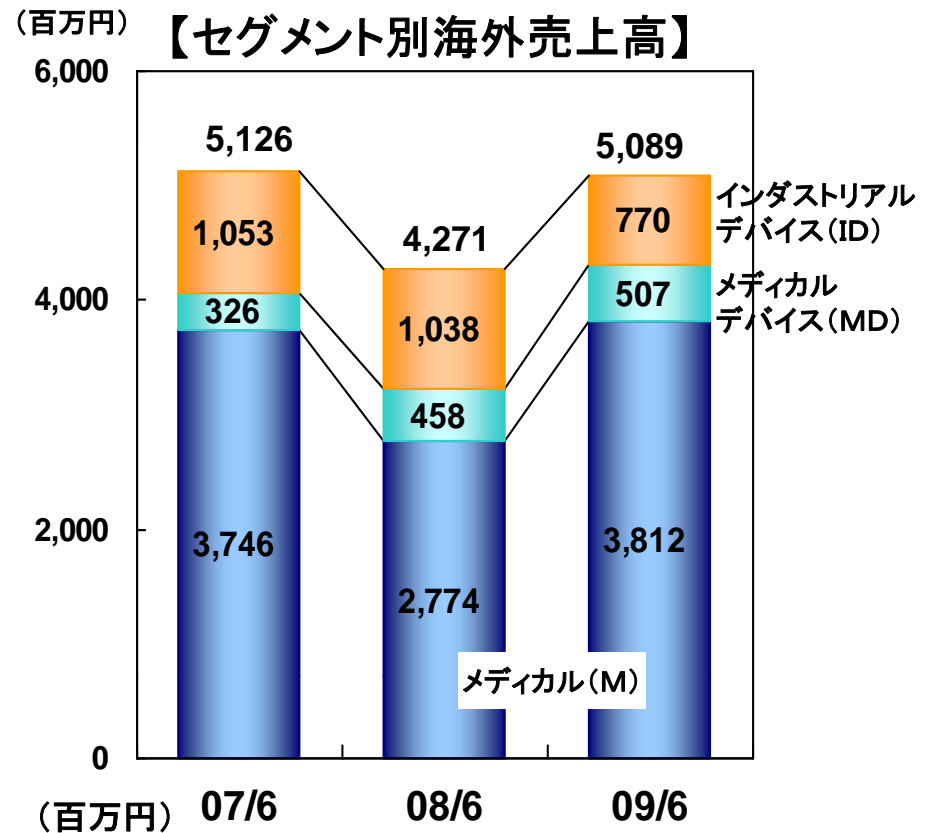
海外売上高の状況



□ 海外売上高は818百万円増加(前期比19.2%増)

- ▶ ドル安による売上高減少の影響を受けたものの、医療機器分野で自社ブランド品やOEM供給品の海外売上が好調
- ▶ アボット社との2008年の取引本数協議が2008年10月末に再合意し、11月以降は急速に伸長
- ▶ アジア・欧州などの地域は引き続き順調に増加

【セグメント別海外売上高】





損益の状況(連結)

	2008年6月期 実績		2009年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	11,700	100.0	12,718	100.0	+1,017	医療機器分野の増収
売上原価	5,834	49.9	5,829	45.8	△4	製造経費及び原材料費の減少
売上総利益	5,866	50.1	6,888	54.2	+1,022	稼働率上昇に伴う生産性向上
販管費	4,808	41.1	5,106	40.1	+297	人件費及び研究開発費の増加
営業利益	1,057	9.0	1,782	14.0	+725	
営業外収益	98	0.8	112	0.9	+13	保険返戻金 +43
営業外費用	218	1.8	456	3.6	+237	円高影響による為替差損 +240
経常利益	937	8.0	1,438	11.3	+500	
特別利益	87	0.7	2	0.0	△85	退職給付制度終了益 △82
特別損失	179	1.5	542	4.3	+362	投資有価証券評価損 +458
当期純利益	473	4.0	445	3.5	△27	



財務の状況(連結)

	2008年6月期 実績		2009年6月期 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	9,803	49.5	11,117	53.8	+1,313	現預金の増加 +1,420 売上債権の増加 +429 たな卸資産の減少 △291
固定資産	9,989	50.5	9,537	46.2	△451	有形固定資産の増加 +30 投資有価証券の減少 △322
資産合計	19,793	100.0	20,655	100.0	+862	
流動負債	3,567	18.0	4,624	22.4	+1,057	短期借入金の増加 +729 未払法人税等の増加 +234
固定負債	3,919	19.8	3,872	18.7	△47	長期借入金の減少 △74
負債合計	7,486	37.8	8,497	41.1	+1,010	
純資産合計	12,306	62.2	12,158	58.9	△148	利益剰余金の増加 +259 為替換算調整勘定の減少 △444
負債・純資産合計	19,793	100.0	20,655	100.0	+862	



連結キャッシュ・フローの状況

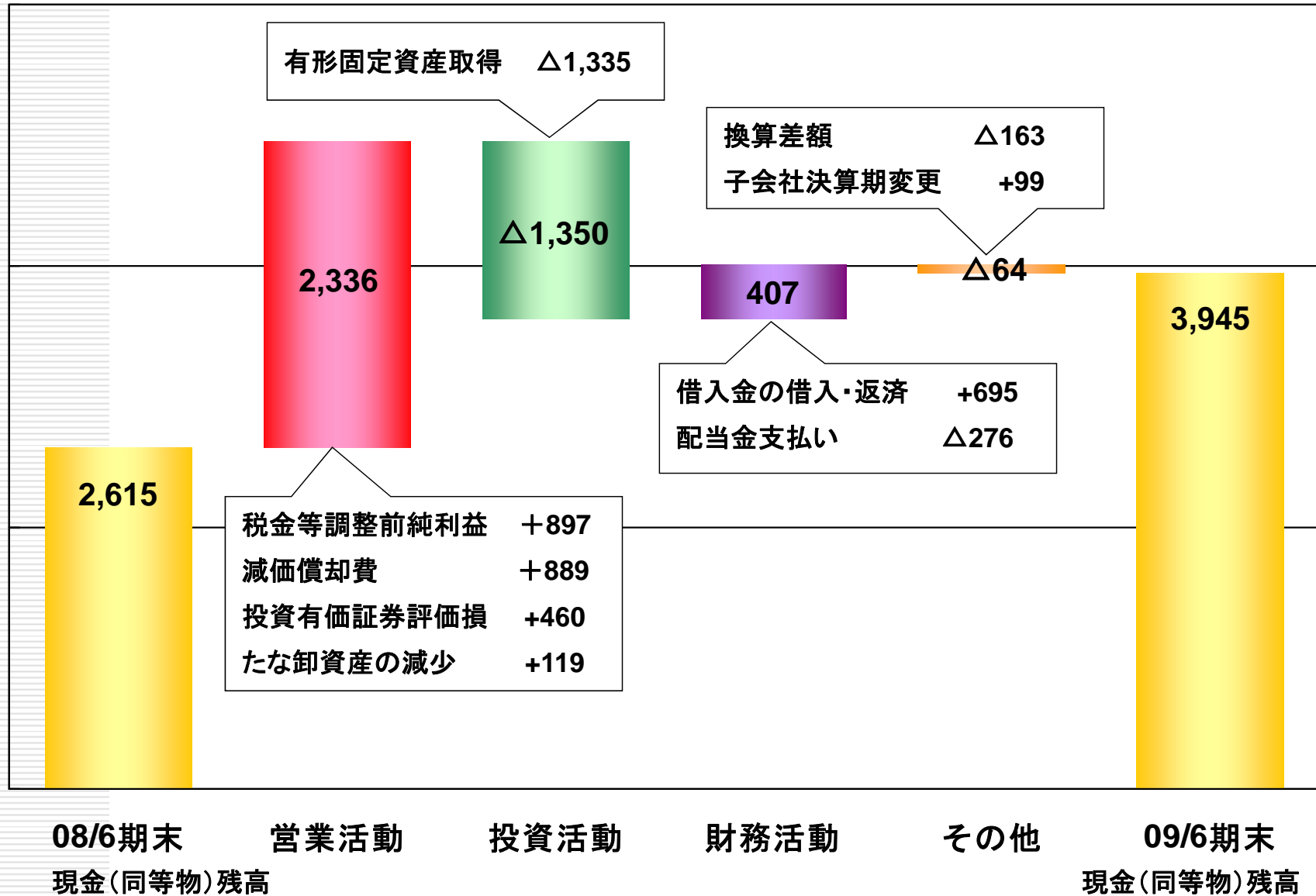
(百万円)

6,000

4,000

2,000

0





1 . 2009年6月期決算の概要

2 . 2010年6月期業績見通し



2010年6月期決算の見通し(連結)

- 売上高は14,789百万円(前期比16.3%増)と堅調な推移を見込む
 - 増収分野: 医療機器 減収分野: 産業機器
 - ▶ 産業機器分野は景気の先行きに不透明感が強く、引き続き厳しい事業環境にあるものの、主力の医療機器分野において海外を中心に高い成長を見込む
 - ▶ アボット社向け売上の増加、アボット社以外の取引も好調に推移

- 先行的な費用発生あるも、医療機器分野の増産効果で大幅な増益を見込む
 - 営業利益は2,229百万円(前期比25.1%増)
 - (営業利益率は前期比1.1ポイント上昇見込み)
 - ▶ ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD. 及びASAHI INTECC HANOI CO., LTD.の生産稼働率上昇
 - ▶ 経費圧縮に努める一方、将来の成長に向けた先行的な費用が増加
 - (研究開発費、営業力やマーケティング機能強化のための人員及び諸経費の増加)
 - 経常利益は2,158百万円(前期比50.1%増)
 - 当期純利益は1,416百万円(前期比217.7%増)

為替の前提

09/06(実績) : US\$ 98.49 円 タイバーツ 2.83円

10/06(計画) : US\$ 95.00 円 タイバーツ 3.00円

為替変動による営業利益の影響(試算)

US\$ (+1円の影響) : 約42百万円増加

タイバーツ(+0.1円の影響) : 約81百万円減少



2010年6月期業績見通し(連結)

	2009年6月期(実績)		2010年6月期(計画)			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	12,718	100.0	14,789	100.0	+2,071	+16.3
売上総利益	6,888	54.2	8,084	54.7	+1,196	+17.4
営業利益	1,782	14.0	2,229	15.1	+447	+25.1
経常利益	1,438	11.3	2,158	14.6	+720	+50.1
当期純利益	445	3.5	1,416	9.6	+970	+217.7
EPS	28.13円	-	89.35円	-		



事業セグメントの変更について-1

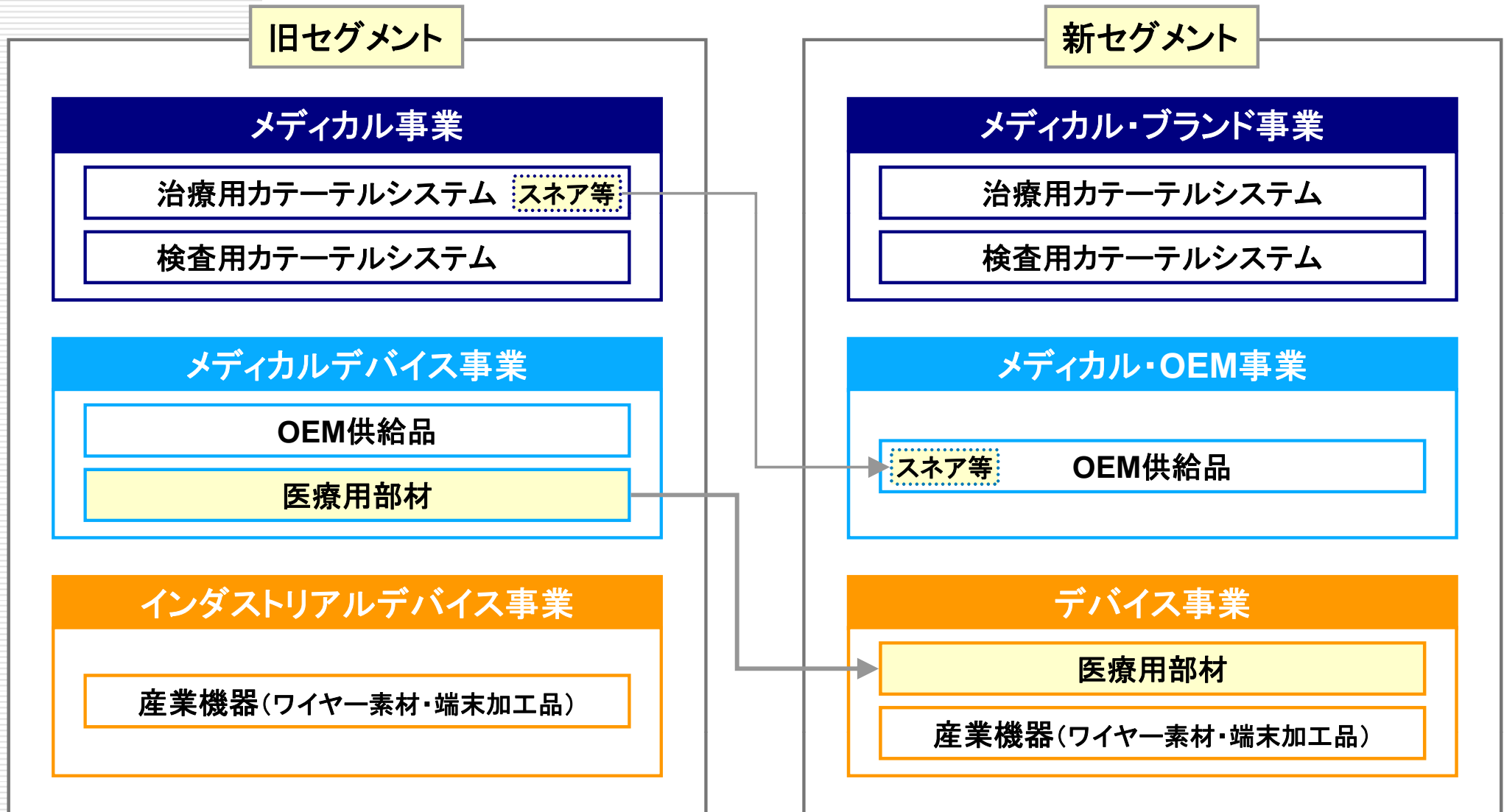
■ 変更の理由

- 従来より、インダストリアルデバイス事業は、産業機器分野のみならず医療機器分野に使用される「部材」に関する開発・製造を行っております。
- 現在メディカルデバイス事業に区分計上されている「医療部材」については、このインダストリアルデバイス事業において製造のほぼ全てを行い、それをメディカルデバイス事業に社内売上する方法としておりました。
- 今後も医療部材においては、売上増加する傾向にあり、よってインダストリアルデバイス事業においては、産業機器分野の部材に比べ、医療機器分野の部材を開発・製造する割合が更に大きくなることが予測されます。
- これら実態を考慮し、また部材に対する収益を明確に区分把握する観点から、セグメント区分の変更を行ったものであります。



事業セグメントの変更について-2

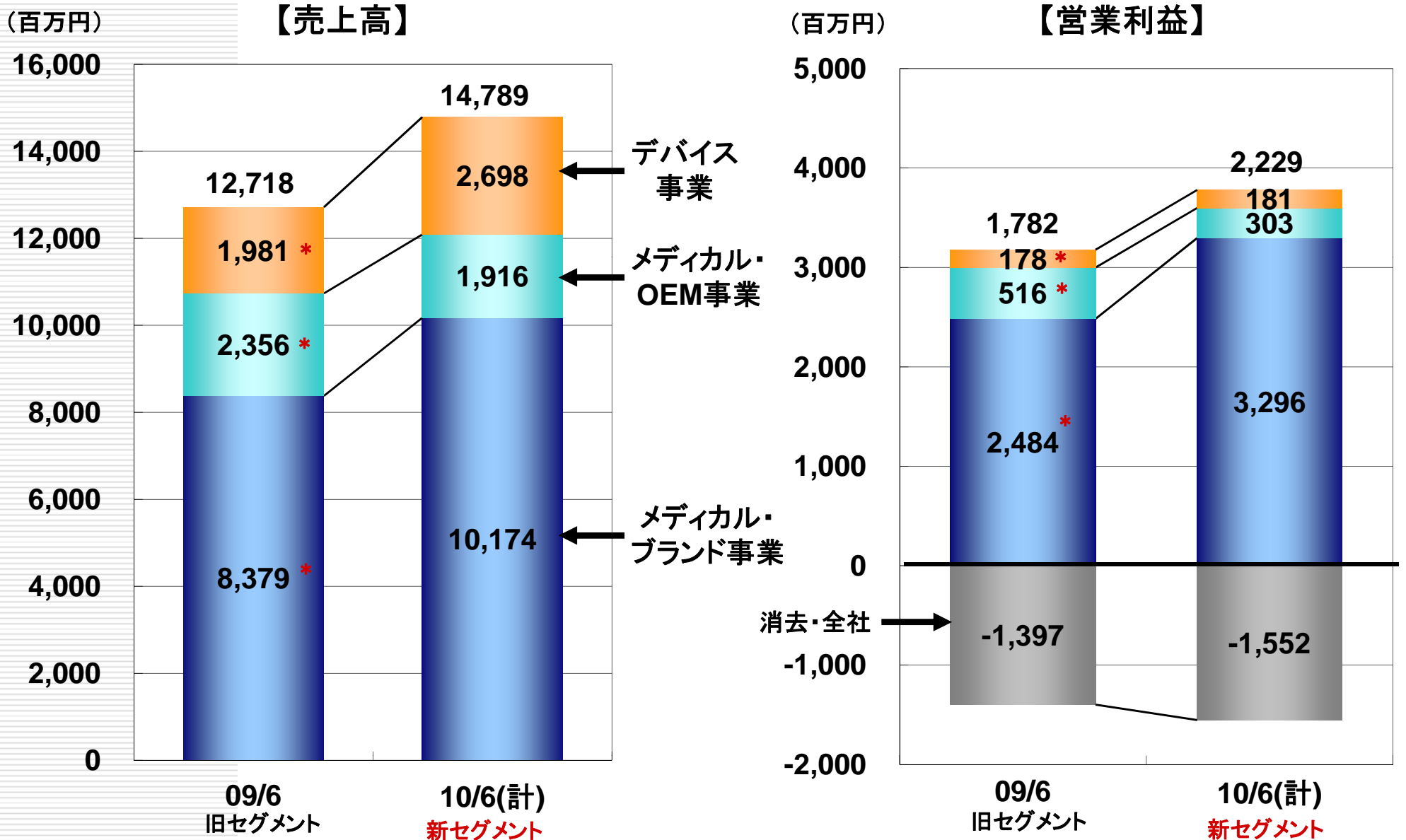
■ 変更内容



※スネア: 高周波ポリープ切除用内視鏡処置具



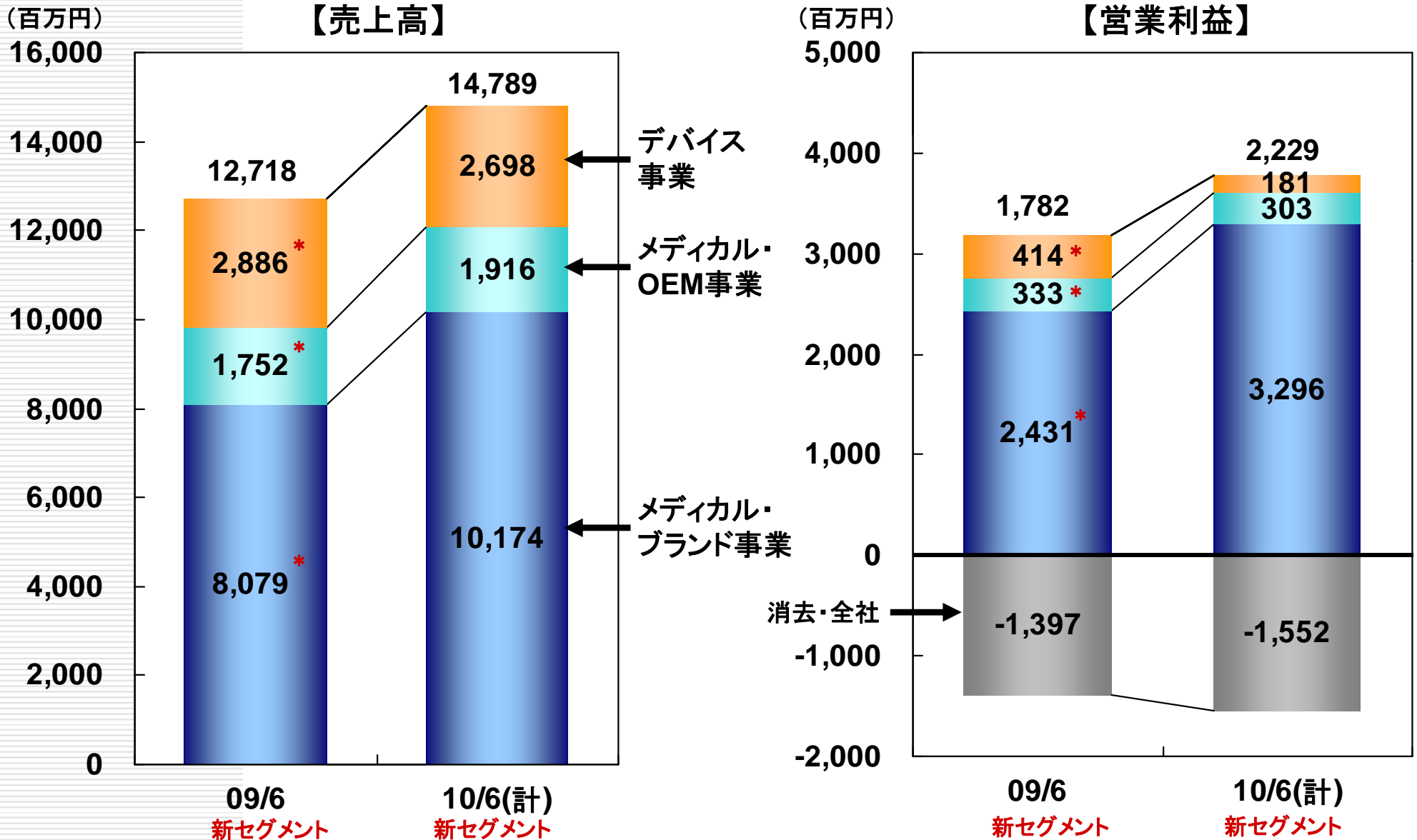
セグメントによる収益見通し



注) 09/6期数値について、09年8月開示数値から監査済数値に変更しております。主な変更要因はセグメント間取引の単価修正部分となります。



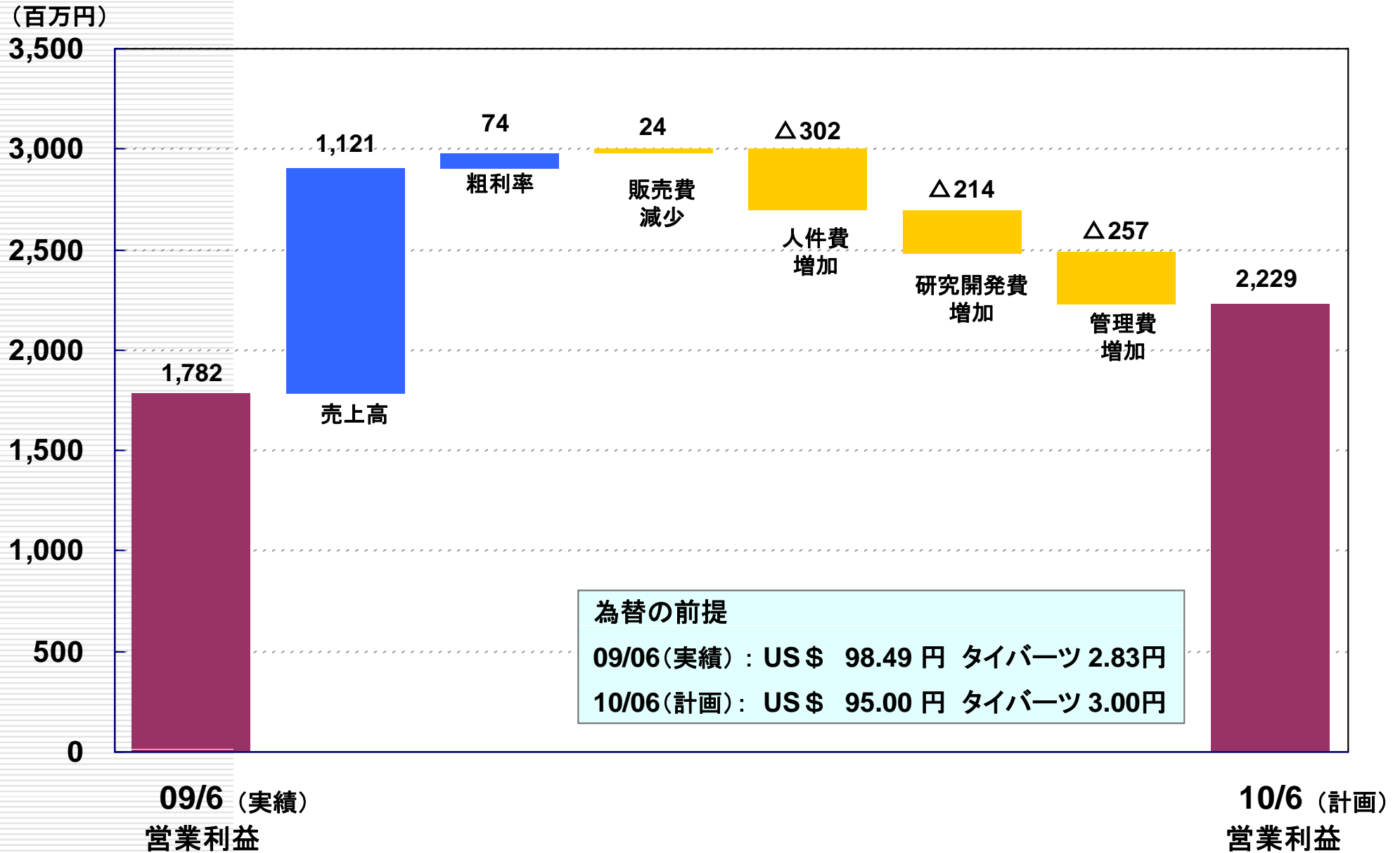
新セグメントによる収益見通し



注) 09/6期数値について、09年8月開示数値から監査済数値に変更しております。主な変更要因はセグメント間取引の単価修正部分となります。

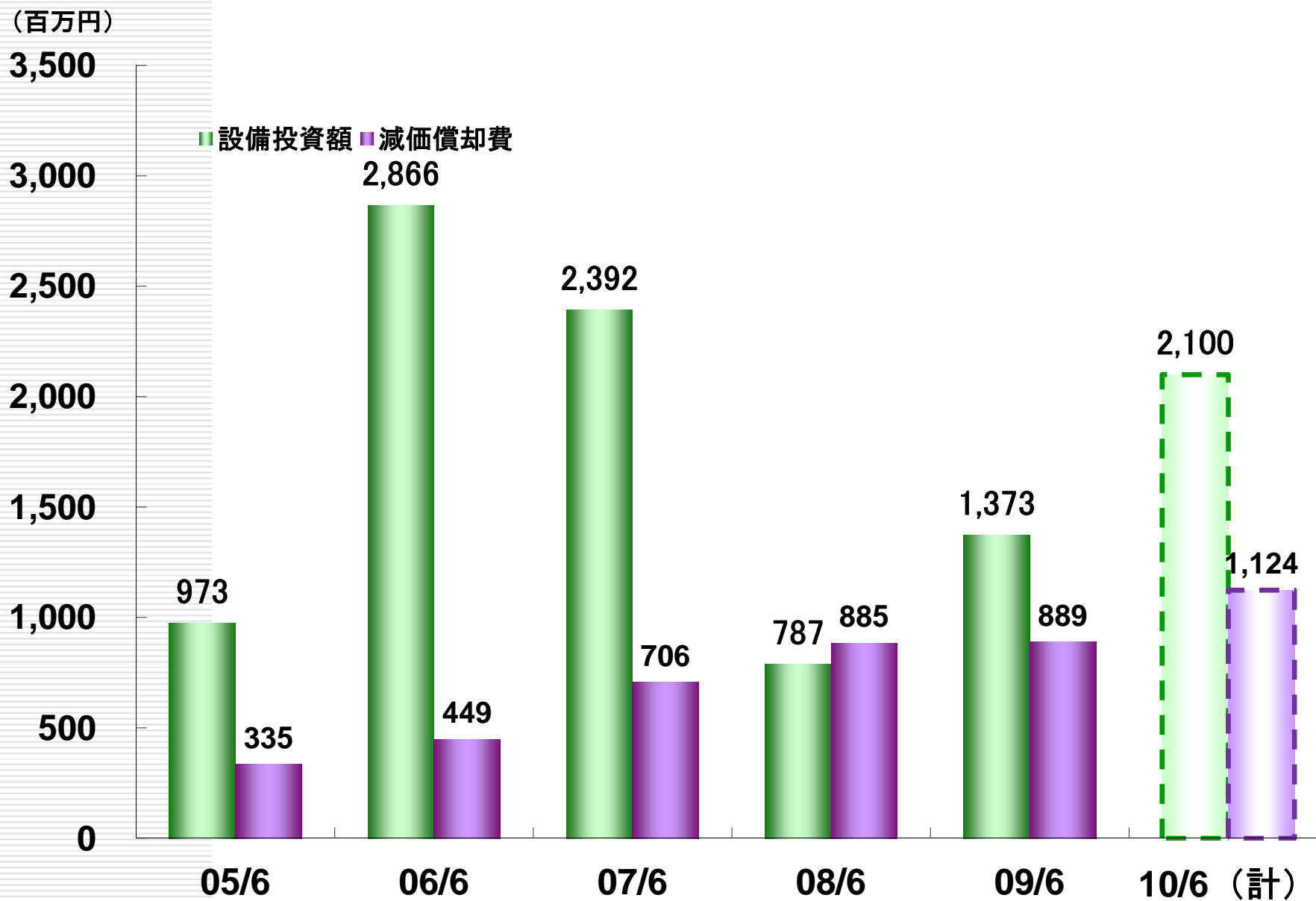


10/6期計画の営業利益増減要因分析





設備投資の実績及び計画





本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 052-768-1218 (Direct)

URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>